

# 新潟県議会 建設公安委員会

## 県外行政視察概要

平成28年2月15日(月)～2月17日(水)



[2月15日]

### ① 移住・住みかえ支援機構 (千代田区)

○地方公共団体と連携した空き家活用の取組について

### ② 袖ヶ浦LNG基地 (袖ヶ浦市)

○世界最大級のLNG基地への発展の歴史と専用埠頭の維持管理等について  
○現地視察

[2月16日]

### ③ 木更津警察署 (木更津市)

○移動交番車の取組について  
○現地視察

### ④ イーグルバス株式会社 (川越市)

○工学的アプローチ等による不採算バス路線の再生及び路線の再生を核とした地方創生の取組について

### ⑤ 埼玉県議会 (さいたま市)

○チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲの成果と今後の企業誘致戦略について

[2月17日]

### ⑥ 群馬県建設業協会 (前橋市)

○新・災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」の運用について

県勢概要	新潟県
総面積	12,584平方km(5)
人口総数	2,313千人(15)
平成27年度一般会計当初予算	13,016億円
県内総生産	86,874億円
1人当たり県民所得	2,708千円(24)
主な生産物(全国順位1位)	金属洋食器 96% 石油ストーブ 77%
県議会議員定数	53人

県勢概要	東京都	千葉県	埼玉県	群馬県
総面積	2,191平方km(45)	5,158平方km(28)	3,798平方km(39)	6,362平方km(21)
人口総数	13,390千人(1)	6,197千人(6)	7,239千人(5)	1,976千人(19)
平成27年度一般会計当初予算	69,520億円	17,096億円	18,290億円	7,160億円
県内総生産	919,089億円	191,323億円	203,740億円	75,637億円
1人当たり県民所得	4,423千円(1)	2,844千円(18)	2,806千円(19)	2,901千円(14)
主な生産物(全国順位1位)	産業用X線装置 71% つばき油 58%	落花生 80% かぶ 28%	金・同合金展伸材 65% 節句・ひな人形 45%	こんにやく粉 82% 半導体・IC測定器 32%
県議会議員定数	127人	95人	94人	50人

## ◎一般社団法人 移住・住みかえ支援機構

【視察テーマ 地方公共団体と連携した空き家活用の取組について】

### ○ 移住・住みかえ支援機構について

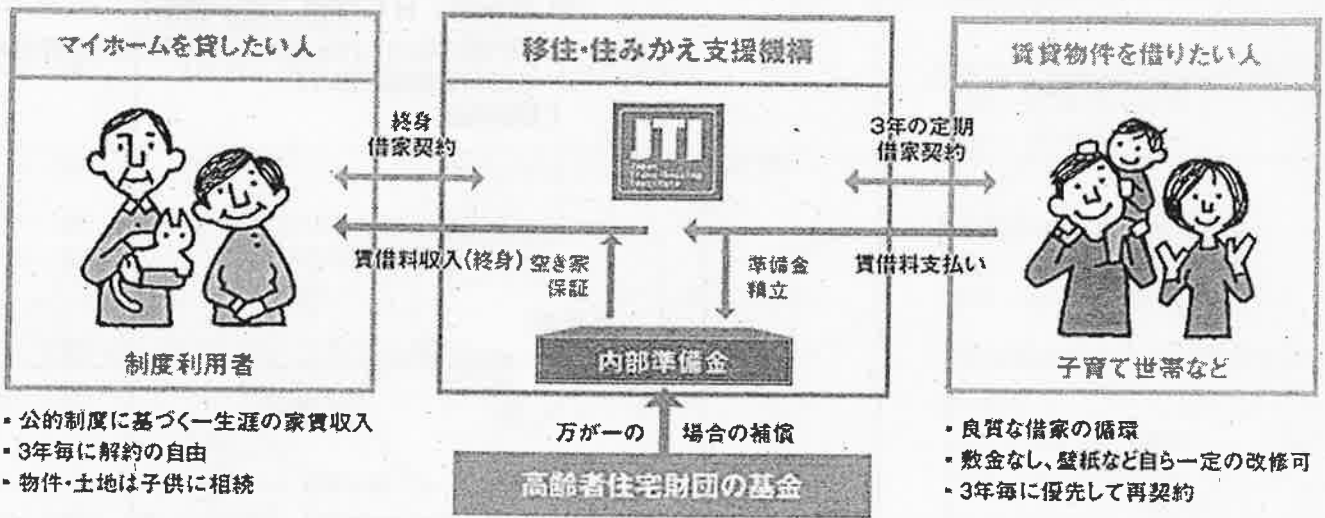
- ◆ 移住・住みかえ支援機構は、地方公共団体と連携し、役所に相談窓口を設置するなど、住みかえの促進や空き家の活用に取り組んでいる。

現在、群馬県、奈良県など複数の地方自治体が機構と連携している。その多くが、機構のマイホーム借上げ制度の相談窓口を設けるなど、制度の紹介を行っている。

- ◆ マイホーム借上げ制度とは、機構が50歳以上のかたのマイホームを最長で終身にわたって借り上げて転貸するものである。借り手が見つからない場合も最低賃料が保証され、貸し主は安定した賃料収入を得ることができる。

- ◆ 奈良県では、機構と協働連携の協定を結び、マイホーム借上げ制度の年齢制限である50歳以上という条件を撤廃するなど、若い世代でも利用できるようにするなど、工夫を凝らしたうえでの活用も行われている。

図1:マイホーム借上げ制度イメージ



(移住・住みかえ支援機構HPから)

## ◎東京ガス株式会社 袖ヶ浦LNG基地

【視察テーマ 世界最大級のLNG基地への発展の歴史と専用埠頭の維持管理等について/  
現地視察：棧橋など】

### ○ 袖ヶ浦LNG基地について

- ◆ 袖ヶ浦LNG基地は千葉県袖ヶ浦市の臨海部に位置する世界最大級のLNG（液化天然ガス）基地である。ブルネイ、マレーシア、オーストラリア、インドネシア等から輸入するLNGを主な原料として、都市ガス及び発電用燃料ガスを製造・供給している。昭和48年に日本で初めてLNG専用工場としてスタートした。専用埠頭には2本の巨大な棧橋があり、年間約200隻のLNGタンカーが接岸する。

表1:袖ヶ浦LNG基地概要

操業開始	: 昭和48年2月
着棧設備	: 3基(棧橋2本)
LNGタンク	: 35基
LNG貯蔵能力	: 2,660,000キロリットル
(東京ガスHPを基に作成。平成13年現在)	

写真1:袖ヶ浦LNG基地



(房総ガス協議会HPから)

## ◎木更津警察署（千葉県警察本部）

【視察テーマ 移動交番車の取組について/現地視察】

### ○ 移動交番車について

- ◆ 千葉県警察では、安全で安心できる県民生活の確保と地域の防犯力を強化するため、平成 22 年 4 月から移動交番車の配備を進め、現在は成田国際空港警察署を除く県下全署で 50 台が活躍している。また平成 25 年 2 月からは、全車に A E D を搭載したほか、一部の移動交番車に災害対策車として活用できる装備をはじめ、防犯講話等を独自に開催可能にするための装備を積載するなど、県民の安全・安心確保の更なる強化に努めている。移動交番車には、警察官 2 人と移動交番相談員 1 人が乗車し、内、1 人は女性を配置している。
- ◆ 活動内容としては、事件・事故の多発地域や交番新設要望地域等において、移動交番を開設して各種届け出の受理や周辺の警戒に従事するほか、巡回パトロールなどを行い、地域の実情に沿った情報発信や犯罪抑止活動を展開している。
- ◆ 移動交番車は公民館やコンビニエンスストア、ショッピングセンターなどで開設している（表 2）ほか、各種イベント会場にも開設される。
- ◆ 移動交番車の車両は、ワンボックスタイプが 39 台、マイクロバスタイプが 11 台で、いずれも千葉県独自のデザインが施されている。車両の左サイド上部には、車両用ロール式テントが備えられており、折りたたみいす、テーブルなど県民とのふれあいを大切にするための装備もある。ワンボックスタイプの車両には警光灯のほかに車載用 L E D 表示ボード（電光掲示版）が装備されており、電光文字による情報発信などの広報活動が展開できるようになっている。

表2:移動交番開設場所一覧表(木更津警察署)

波岡公民館
桜井公民館
岩根西公民館
富来田公民館
八崎公園
セブンイレブン請西平川店
三井アウトレットパーク木更津
イオンモール木更津
袖ヶ浦市民会館
長浦公民館
平川公民館
袖ヶ浦公園

※上記の場所に常設しているものではなく、日にち、時間によって開設場所は異なる。  
(千葉県警察HPを基に作成)

写真2:移動交番車(ワンボックスタイプ)



(千葉県警察HPから)

## ◎イーグルバス株式会社

【視察テーマ 工学的アプローチ等による不採算バス路線の再生及び路線の再生を核とした地方創生の取組について】

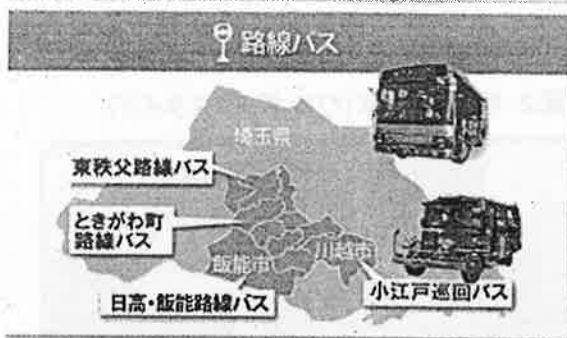
### ○ 赤字バス路線を引き継ぎ、利用者を増加に転換

- ◆ イーグルバス（本社：川越市）は昭和 55 年創業で、観光バスや高速バスを主体に事業を展開してきた。平成 14 年に改正道路運送法が施行され、乗合バス事業の規制が緩和されたのを機に、翌年から路線バス事業に参入した。
- ◆ 平成 18 年に、川越市に隣接する日高市の乗合バスが赤字撤退することとなり、地元の要望を受けて、同市のバス路線を引き継いだ。

(次ページへ続く)

- ◆ イーグルバスでは、バスにセンサーを取り付け、ビッグデータを多角的に収集し、路線バス事業が抱えていた課題とその改善策をデータで徹底的に可視化し分析することで、わずか4年で、乗客を前年比で増加に転じさせた。
- ダイヤ最適化による路線バス改善の取組
  - ◆ 再生に向け、イーグルバス社長の谷島賢氏が真っ先に取り組んだのが「運行状況の可視化」であった。それまでの路線バスは、データがなく「見えない事業」ということが問題であり、一度車庫を出ると混雑率や遅延時間といった運行状況を把握できず、運転士の勘と経験を頼りに運行されていたためである。
  - ◆ データを取得するための仕組みの構築に取り組む中で、ハード（測る）・ソフト（見る）・考える（改善プロセス）がそろって初めて改善できるという結論に至り、ハード・ソフト・プロセスの三位一体による「PDCA3年改善モデル」を考案した。まず1年めに見える化を行い問題点を抽出、2年めに最適化したダイヤで運行し利用者から評価してもらい、3年めに利用者の評価を入れてもう一度修正したダイヤで運行し、4年めに運行を継続するか撤退を含む見直しをするかの再評価を行うというものである。
  - ◆ 見える化に当たって、バスにGPSと乗降口にセンサーを設置し、停留所ごとの乗客数や停留所間の乗車人数、路線上で位置や運行にかかっている時間を把握できるようにした。そうしたデータから顧客がだれも利用していない運行区間や、ダイヤと実際の運行との差違から遅延などをグラフ化し、顧客アンケートを加味したうえで、運行ダイヤの最適化を図った。

写真3:イーグルバスが運行する路線バス



(イーグルバスHPから)

写真4:レトロなボンネットバスも運行している



(イーグルバスHPから)

- ハブ機能創出で地方創生
  - ◆ 埼玉県東秩父村に「和紙の里ハブ化構想」がある。手すき和紙の体験施設である「和紙の里」をハブバスセンターとして村営バスとイーグルバスのバス路線を結束させ、住民の利便性向上と観光客の取り込みを図るもの。この構想は、東秩父村、イーグルバス、埼玉県などで構成する協議会が策定した計画の中に位置づけられている。
  - ◆ ハブバスセンターにはコンビニエンスストア、ATMなど住民の生活機能の施設を導入するほか、そこから各観光地へ向けて運行するもの。住民向けとしてだけでなく、バス利用者の少ない昼間の時間帯に観光客を誘客することで、一日の繁閑の差を埋めることができ、バス利用者の獲得はもとより、観光地の活性化を実現しようというものである。

## ◎埼玉県議会

【視察テーマ チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲの成果と今後の企業誘致戦略について】

- 埼玉県の概要
  - ◆ 埼玉県は1都6県と隣接しており、日本の人口の約3分の1である約4,300万人の  
(次ページへ続く)

人口を抱え、首都圏という巨大マーケットの中央に位置しており、東北・上越・山形・秋田・北陸の五つの新幹線により、東日本の主要都市と結ばれている。また、今後、圏央道が全線開通すると、首都圏から全国に放射状に伸びる五つの高速道路（東名・中央・関越・東北・常磐）がすべてつながり、日本一の交通の要衝となる。

○ 埼玉県の企業誘致について

- ◆ 埼玉県では、県内産業の振興と雇用の創出、税収の確保を図ることを目指し、企業誘致に継続的に取り組んでいる。平成 17 年 1 月から「企業誘致大作戦」として集中的に取り組を開始し、第 2 ステージの「チャンスメーカー埼玉戦略」（平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月）、第 3 ステージの「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ」（平成 22 年 4 月から平成 25 年 3 月）を掲げ、誘致活動を展開してきた。直近の「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ」では 201 件の立地に成功している（表 3）。なお、「企業誘致大作戦」開始の平成 17 年 1 月から「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ」終了の平成 25 年 3 月までの立地実績は 630 件で、投資総額は約 5,039 億円、新規雇用は 6,973 人となっている（表 4）。
- ◆ 平成 25 年 4 月からは「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲ」により立地件数 150 件を目標に企業誘致活動を推進している。計画期間は平成 28 年 3 月まで。

表3:チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱの実績  
(平成22年4月～平成25年3月)

立地件数	:201件(目標値:100件)
企業訪問件数	:4,759件(目標値:3,000件)

表4:平成17年1月～平成25年3月までの立地実績

立地件数	:630件
投資総額	:約5,039億円
新規雇用	:6,973人
業種内訳	:表4-2のとおり

(単位:件)

表4-2:業種内訳

業種	製造業	流通加工業	食品製造業	本社・支社	外資系企業	研究所	ベンチャー	合計
件数	365	130	72	32	22	8	1	630

(表3、表4、表4-2:埼玉県HPを基に作成)

◎一般社団法人 群馬県建設業協会

【視察テーマ 新・災害情報共有システム  
「ぐんケン見張るくん」の運用について】

図2:群馬県建設業協会  
マスコットキャラクター



「ぐんケンくん」

(群馬県建設業協会HPから)

○ 新・災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」について

- ◆ 群馬県建設業協会は、平成 26 年 12 月に「ぐんケン見張るくん」の運用を開始した。これは、平成 20 年に全国に先駆けて立ち上げた民意主導の「GPS 携帯による災害情報共有システム」の改良版として、NTTドコモと提携し開発された災害情報共有システムである。
- ◆ 協会では、以前から、GPS 機能付きの携帯電話を使い、災害情報を伝えていた。これは平成 19 年に群馬県を襲った集中豪雨がきっかけで、災害時の情報量を少しでも増やすには、地域に精通した建設業ならではの情報収集・発信能力が利用できるのではないかとということなどからである。平成 23 年の東日本大震災では、情報収集で多大な力を発揮し、台風・大雪では位置情報と画像付きシステムが利用され成果を上げた。
- ◆ しかし、システム運用から 6 年の間に IT 環境は大きく変化し、動画や音声入力はもちろん、SNS での情報のやり取りも当たり前のこととなった。平成 26 年 2 月の歴史的な大雪の際、除雪作業で収集した情報をツイッターで発信したところ大反響を呼び、多くの地域住民から「地域に根付いた建設業界の役割を再確認した」という声が寄せられ、協会は SNS を駆使した業界の広報戦略の必要性を痛感した。
- ◆ 「ぐんケン見張るくん」では、操作性が改良された。これまで協会の会員からシステムに届いた災害情報を基に、協会の担当者が内容を修正するなど煩雑な方法でツイッターへ情報を公開していたところを、携帯電話やスマートフォンから位置情報や文字、画像に加えて、動画も直接配信できるようにした。

## 建設公安委員会 県外行政視察日程表

月日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
2/15 (月)	10:40 集合	東京駅1階 八重洲南口改札 集合	
		《丸ノ内鍛冶橋駐車場まで徒歩で移動(約10分)》 《借上バスで移動》	
	11:05 (着)	● 一般社団法人 移住・住みかえ支援機構	東京都千代田区平河町1-7-20
	12:05 (発)	○ 地方公共団体と連携した空き家活用の取組について	TEL : 03-5211-0772 FAX : 03-5211-3207
	12:15 (着)	昼食 (都市センターホテル)	東京都千代田区平河町2-4-1
	13:00 (発)		TEL : 03-3265-8211 FAX : 03-3262-1705
14:30 (着)	● 東京ガス株式会社 袖ヶ浦LNG基地	千葉県袖ヶ浦市中袖1-1	
16:00 (発)	○ 世界最大級のLNG基地への発展の歴史と専用埠頭の維持管理等について	TEL : 0438-62-3671	
	○ 現地視察	FAX : 0438-62-5992	
16:30 (着)	【宿泊】グランパークホテルエクセル木更津	千葉県木更津市朝日1-1-40	
		TEL : 0438-22-4123 FAX : 0438-22-4602	
2/16 (火)	8:30 (発)	【宿泊】グランパークホテルエクセル木更津	
	8:45 (着)	● 木更津警察署 (千葉県警察本部)	千葉県木更津市潮見1-1-5
	10:15 (発)	○ 移動交番車の取組について	TEL : 0438-22-0110
		○ 現地視察	FAX : 0438-22-0137
	12:00 (着)	昼食 (パレスホテル大宮)	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
	13:00 (発)		TEL : 048-647-3300 FAX : 048-647-0430
14:00 (着)	● イーグルバス株式会社	埼玉県川越市中原町2-10-12	
15:00 (発)	○ 工学的アプローチ等による不採算バス路線の再生及び路線の再生を核とした地方創生の取組について	川越MKビル	
		TEL : 049-226-0141 FAX : 049-225-9422	
16:00 (着)	● 埼玉県議会	埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1	
17:00 (発)	○ チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲの成果と今後の企業誘致戦略について	TEL : 048-830-6250 FAX : 048-830-4923	
17:15 (着)	【宿泊】ラフレさいたま	埼玉県さいたま市中央区新都心3-2	
		TEL : 048-601-1111 FAX : 048-600-5501	
2/17 (水)	8:30 (発)	【宿泊】ラフレさいたま	
	10:30 (着)	● 一般社団法人 群馬県建設業協会	群馬県前橋市元総社町2-5-3
	11:30 (発)	○ 新・災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」の運用について	TEL : 027-252-1666 FAX : 027-252-1993
	12:00 (着)	高崎駅 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解散</span>	昼食はご用意しておりませんので、各自でお取りください。
	(参考：高崎駅からの上越新幹線及び北陸新幹線)		
	とき321号	高崎 越後湯沢 浦佐 長岡 新潟 12:43 13:12 13:25 13:39 14:02	
	はくたか561号	高崎 上越妙高 12:36 13:38	